

## 第 6 学 年

ようこそ 宮沢賢治の世界へ～作品を読んでパンフレットを作ろう～

男子 1 名、女子 4 名 計 5 名 指導者 原田圭輔

### 【題材観】「やまなし」

- 宮沢賢治が生前に発表したメルヘン（童話）作品である。妹のトシが亡くなった後に発表された作品である。
- 小さな谷川の底を写した「五月」と「十二月」の 2 枚の青い幻灯から場面が構成され、季節、時間、登場する物、色、表現技法等が異なり、対比的に描かれている。どちらもかきの親子を視点として描かれている。
- 自然には「奪われる命」もあれば、「恵みの命」もあり、「命」はずっとぐるぐるともめぐることをこの作品から伝えようとしている。

### 【児童観】

- 「カレーライス」では、表や登場人物関係図を使って、登場人物の心情の変化や登場人物相互の関係を読み取ることができた。また、視点に沿って重松清作品の推薦文を書くことができた。同じ作者の本を読むことで、作者の思いに迫ることができた。
- 日常の読書で同じ作者の本を読んだり、さらに読み深めたりするまでに至っていない。自分の好きな本しか読まない児童が見られる。
- 本の推薦文や感想文の内容を自力でよりの確にまとめることが難しい。

### 【この単元のつきたい力】

- 作者に関する伝記や資料を読んだり、同じ作者の複数の作品を比べて読んだりするなど目的に応じて工夫して効果的に読む力。
- 優れた叙述を見つけ、象徴性や暗示性の高い表現や内容、メッセージや題材を強く意識させる表現な内容等に気付き、それらを評価する力。

### 【そのために取り入れる言語活動】

- 宮沢賢治の伝記や宮沢賢治作品を読み、作者の人生や生き方を知ったり、作者の表現の工夫や物語の主題を読み取ったりする言語活動。

### 【単元の評価規準】

- 宮沢賢治を紹介するために、いろいろな宮沢賢治の作品や伝記を並行して読んだり（多読）、拾い読み（摘読）をしたりするなど工夫して読んでいる。〔C イ〕
- 情景の描写や独特の表現をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめている〔C エ〕
- 宮沢賢治を紹介するために、宮沢賢治の作品や宮沢賢治に関する伝記や資料を選んで比べて読んでいる。〔C カ〕
- 比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。〔言語事項 イ(ケ)〕

### 児童の課題克服の手立て

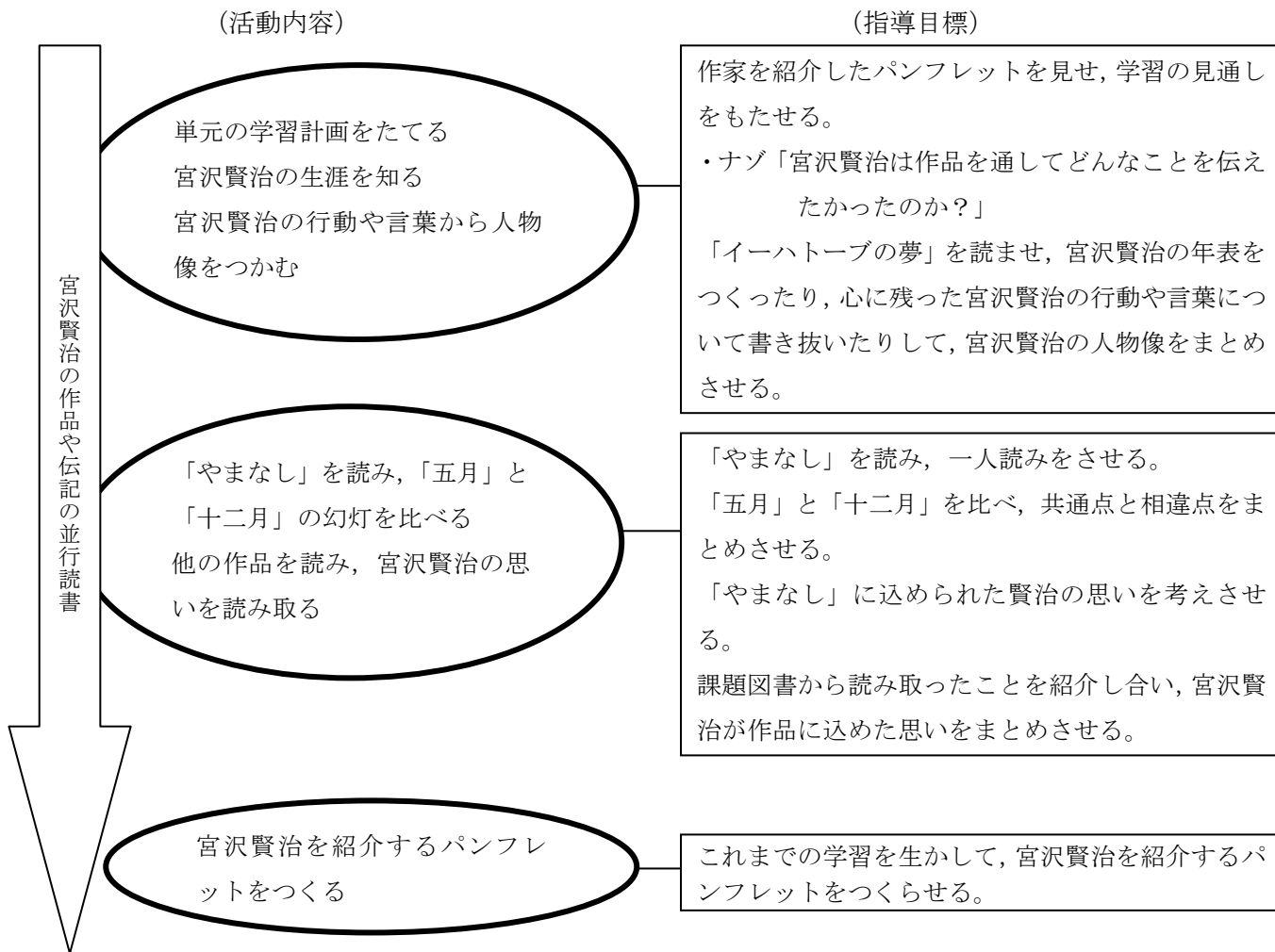
#### 【指導観】

- 指導者のモデル作品を見せ、単元のゴールをつかませる。宮沢賢治作品や宮沢賢治の伝記を教室に置き、休憩時間や授業時間にすぐに読書できるようにする。また、課題図書を設定し、じっくりと他の作品を読む機会をつくる。
- 個人で思考し、自分の考えなどを書かせた後、ペアや全体で読み合う時間をつくり、互いに意見を交わせる。また、必要に応じて推敲する場面も設定する。

#### 想像を広げながら読むための手立て

- 物語の「ナゾ」を設定し、それらを解決していく中で読みを深めさせる。
- 情景描写や独特の表現に着目させ、それらから象徴性や暗示性、メッセージ等を考えさせる。
- 題名や表現に着目させたり、作者に注目させたりすることで作者の伝えたいことを考えさせる。

【単元構成図】



【指導計画】(全13時間)

次	学習内容(時数)	評 価				
		関	読	言	評価規準	評価方法
一	○「パンフレット」に興味をもち、学習課題を設定し、学習の計画をたてる。(1)	○			○宮沢賢治作品に興味をもち、進んで読書をしている。	行動観察 (発言・行動)
	○「イーハトーブの夢」等の宮沢賢治に関する伝記や資料を読み、宮沢賢治の年表をつくる。(2)		○		○いろいろな宮沢賢治の伝記を並行して読んだり(多読)、拾い読み(摘読)をしたりするなど工夫して読んでいる。[C イ]	ノート
	○宮沢賢治の行動や心に残った宮沢賢治の言葉を見つけ、宮沢賢治の人物像をまとめる。(1)			○	○宮沢賢治を紹介するために、宮沢賢治に関する伝記や資料を選んで比べて読んでいる。[C カ]	ノート ホワイトボード

二	<p>○「やまなし」を読み、場面や登場人物等を整理し、言葉の意味を確認する。(1)</p> <p>○「五月」と「十二月」に出てくる言葉を、自分で設定した観点をもとに集め、対比になっている叙述を見つける。(1)</p> <p>○対比になっている叙述をもとに、「五月」と「十二月」はそれぞれどんな幻灯なのか考え、宮沢賢治の思いを読み取る。(1)</p> <p>○課題図書の読み取りを紹介し合い、宮沢賢治が作品に込めた思いをまとめる。(3) (本時 3/3)</p>	◎	○	<p>○「やまなし」を読み、読みの視点をもとに作品の大体をつかむ。</p> <p>○情景の描写や独特の表現をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめている。 [C エ]</p> <p>○比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。 [言語事項 イ(ケ)]</p> <p>○情景の描写や独特の表現をとらえ、優れた叙述をもとに、作者の思いを読み取っている。 [C エ]</p> <p>○宮沢賢治を紹介するために、宮沢賢治の作品を比べて読んでいる。 [C カ]</p>	<p>ノート</p> <p>ノート</p> <p>ノート 発表</p> <p>ノート</p>
三	<p>○自分で設定した項目をもとに、宮沢賢治を紹介するパンフレットを作成する。(2)</p> <p>○作成したパンフレットを読み合い、自分の考えを広げたり深めたりして、単元のまとめをする。(1)</p>	◎	○	<p>○宮沢賢治を紹介するために、いろいろな宮沢賢治の作品や伝記を並行して読んだり(多読)、拾い読み(摘読)をしたりするなど工夫して読んでいる。 [C イ]</p> <p>○比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。 [言語事項 イ(ケ)]</p> <p>○宮沢賢治を紹介するために、宮沢賢治の作品や宮沢賢治に関する伝記や資料を選んで比べて読んでいる。 [C カ]</p>	<p>パンフレット ノート</p>

【本時の目標】

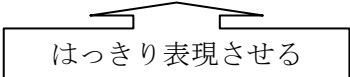
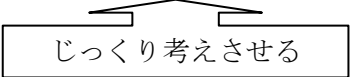
- 宮沢賢治の前期・中期・後期作品についてそれぞれのグループで読み取ったことを交流し合い、「やまなし」と比較したり、宮沢賢治の人物像とつなげたりすることを通して、宮沢賢治が作品に込めた思いを考えることができる。

<言語活動>

- ・課題図書として読んだ本から読み取ったことについてまとめたものを読み合う。
- ・作者が作品に込めた思いについて文章にまとめる。

【 準備物 】 画用紙，マジック，原稿用紙（200字）

【本時の学習指導過程】

学習活動	教師の発問・指示 予想される児童の反応	教師の指導・支援◎ 評価とその方法○
1. 本時のめあてを確認する。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;">                     他の作品や作者の人物像をもとに、宮沢賢治が作品に込めた思いを考えよう。                 </div>		
2. 各グループで、それぞれの作品で読み取ったことを確かめる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;">                     作品を読んで読み取ったことを確かめましょう。                 </div>	◎前時に、グループごとで作品から読み取ったことを画用紙にまとめさせておく。 ◎9つの作品を課題図書として読ませておく。
3. グループごとに、それぞれの作品で読み取ったことを発表する。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み取ったことをまとめた画用紙を黒板に貼り、それを全員で読み合う。</li> <li>・どんな作品か(あらすじ),「やまなし」と比較して分かったこと(共通点, 相違点), 宮沢賢治がこの作品から伝えたかったこと(主題)などを書かせる。</li> <li>・聞き手から質問や意見を出す。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;">                     質問や意見はありませんか。                 </div> <p>前期作品</p> <p style="margin-left: 20px;">双子の星 (1981年) 雪渡り (1921年) よだかの星 (1921年)</p> <p>中期作品</p> <p style="margin-left: 20px;">すいせん月の四月 (1924年) どんぐりと山猫 (1924年) オツベルと象 (1926年)</p> <p>後期作品</p> <p style="margin-left: 20px;">グスコーブドリの伝記 (1932年) なめとこ山の熊 (1934年) 度十公園林 (1934年)</p>	◎聞き手が分かるように、ゆっくりと答えさせる。 ◎まとめたものについて疑問や意見がある場合は、積極的に聞いたり、言ったりさせる。
4. 宮沢賢治が作品を通して伝えたかったことについて自分の考えをまとめる。 (150字～200字でまとめる) <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;">                     宮沢賢治は様々な作品を通してどんなことを伝えようとしたのでしょうか。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の美しさ すばらしさ</li> <li>・人間社会の悲しさ</li> <li>・命のつながり うつくしさ はかなさ</li> </ul>	◎宮沢賢治の人物像や「やまなし」の学習も活用して考えさせる。 ○宮沢賢治を紹介するために、宮沢賢治の作品を比べて読んだり、宮沢賢治の人物像とつなげたりして、宮沢賢治が作品に込めた思いをとらえている。(原稿用紙)

<p>5. まとめたことを発表する。</p> <p>6. 振り返りをノートに書く。</p> <p>7. 次時の学習について知る。</p>	<p>次の時間は、これまでの学習を生かして宮沢賢治を紹介するパンフレットをつくります。</p>	<p>◎全員に発表させ、質問や意見を出させる。</p> <p>◎ノートに本時の学習の振り返りを書かせる。</p>
--	---	--

【板書計画】

宮沢賢治

すいせん月の四月

雪わたり

よだかの星

グスコブドリの伝記

なめとこ山の熊

オツベルと象

めあて

他の作品をもとに、宮沢賢治の人物像や宮沢賢治が作品に込めた思いを考えよう。

作品に込めた思い

自然が好き（動物・植物・星）

自然の自由な生き方を好んだ

ようこそ 宮沢賢治の世界へ

命のつながり

自然の美しさ

美しさ

はかなさ

自然の美しさ

人間社会の悲しさ